

1-4. 調査結果

(1) 広域分布調査

① 春季調査(平成 16 年 5 月 6,7 日実施)

広域分布調査で確認された出現種及び確認された状況は表 1-4-1のとおり。

また、広域分布の観察結果を図 1-4-1および図 1-4-2に示す。

表 1-4-1 春季・広域分布調査 主要確認種の概要

(調査日:平成16年5月6、7日)

種名	河口干潟	住吉干潟
シオマネキ	・ヨシ原内で局所的に確認 ・密度は小さい	・ヨシ原内やヨシ原周辺の泥場で確認
ハクセンシオマネキ	・主に干潟中央のヨシ原縁部の砂泥域で確認	・ヨシ原縁部やヨシ原内の砂泥域で局所的に確認
チゴガニ	・砂泥域の水際付近で局所的に確認	・ヨシ原縁部の泥場で比較的広範囲に確認
コメツキガニ	・砂泥域で広範囲に確認	・河口寄りの砂泥域及び中州の河口側の砂泥域で確認
スナガニ	・左岸側や河口寄りの砂地で局所的に確認	(確認できず)
ヤマトオサガニ	(確認できず)	・ヨシ原縁部～水際の泥場で広範囲に確認
アシハラガニ属	・ヨシ原内やヨシ原周辺で広範囲に確認	・ヨシ原内やヨシ原周辺で広範囲に確認
ヘナタリガイ	・干潟中央部の砂泥域で広範囲に確認	・上流側の護岸寄りで局所的に確認
フトヘナタリガイ	・ヨシ原内やヨシ原周辺の砂泥域で広範囲に確認	・ヨシ原縁部やヨシ原内の砂泥域で局所的に確認
ヒロクチカノコ	・ヨシ原内で比較的広範囲に確認	・ヨシ原内で比較的広範囲に確認
昨年度春季と比較して確認地点・範囲が著しく変化した種	1.シオマネキ: 確認範囲が縮小(ヨシ原内ほぼ全体→ヨシ原内で局所的に確認) 2.チゴガニ: 確認範囲が縮小(ヨシ原河口側の砂泥域で比較的広範囲に確認→水際で局所的に確認) 3.フトヘナタリガイ: ヨシ原内での確認範囲が広がる	1.ヤマトオサガニ: 確認範囲広がる(ヨシ原縁部周辺→ヨシ原縁部～水際の泥場) 2.ヘナタリガイ: 確認地点の変化(河口寄りのヨシ原付近→上流側護岸寄りの一部) 3.フトヘナタリガイ: 確認地点の変化(上流側の一部→ヨシ原縁部～ヨシ原内の一部)

注:アシハラガニ属は、目視確認した分布範囲の中にアシハラガニとヒメアシハラガニが混在しているが、現地観察での分類は困難なため、アシハラガニ属と表記した。

調査日 : 平成16年5月6、7日  
 観察者 : 三洋テクノマリン株式会社  
 小泉 善之、谷本 都、他4名  
 観察方法 : 船上で行動している水生動物を、双眼鏡を使用した  
 目視観察を主体として確認

<基図 (レーザー測量による地形図) 撮影日: 平成16年3月10日>

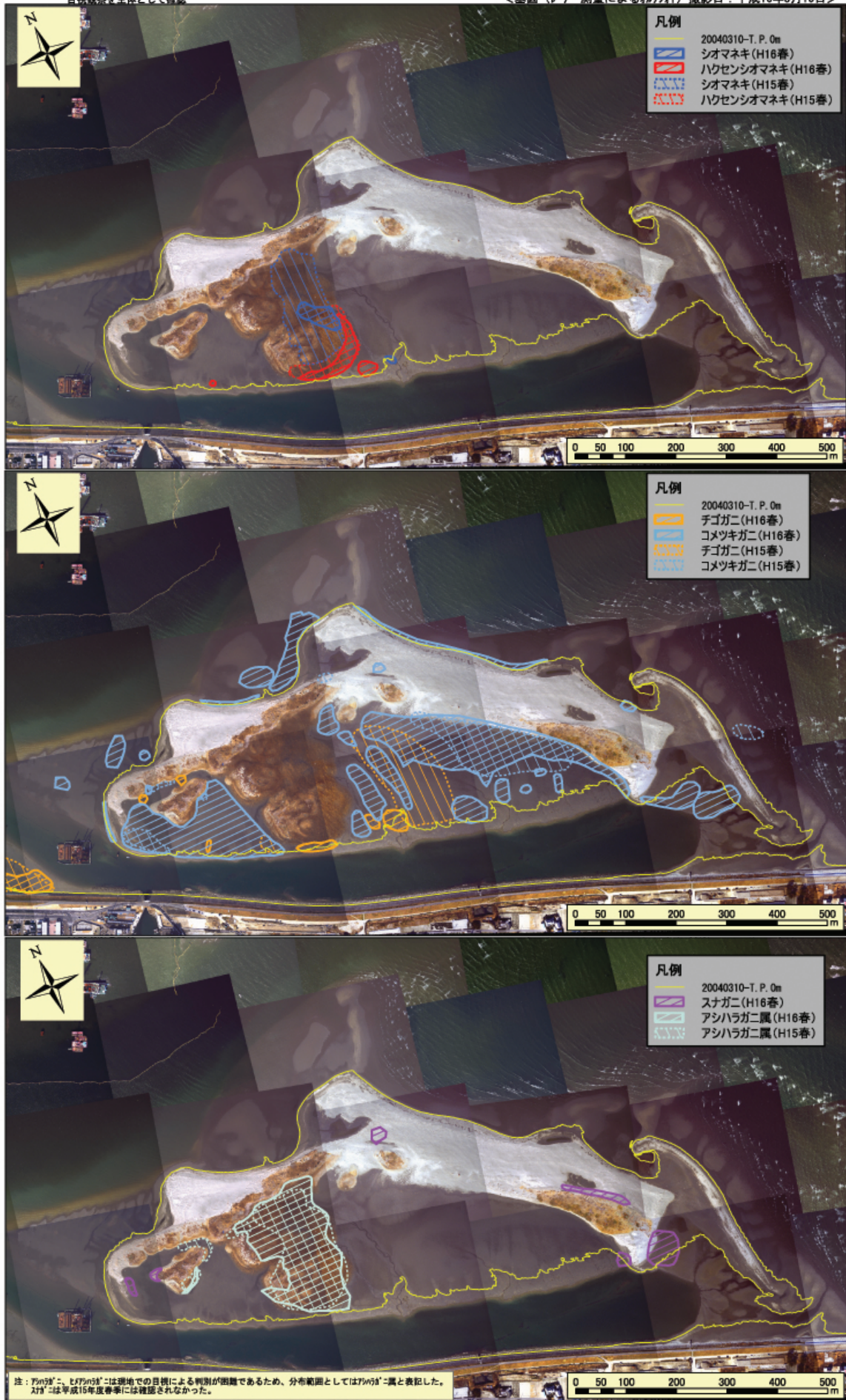


図 1-4-1(1) 春季調査: 広域分布調査(河口干潟-1)

調査日 : 平成16年5月6、7日  
 観察者 : 三洋テクノマリン株式会社  
 小泉 善之、谷本 都、他4名  
 観察方法 : 地上で行動している底生動物を、双眼鏡を使用した  
 目視観察を主体として確認

<基図 (レーザー測量によるLiDAR) 撮影日: 平成16年3月10日>

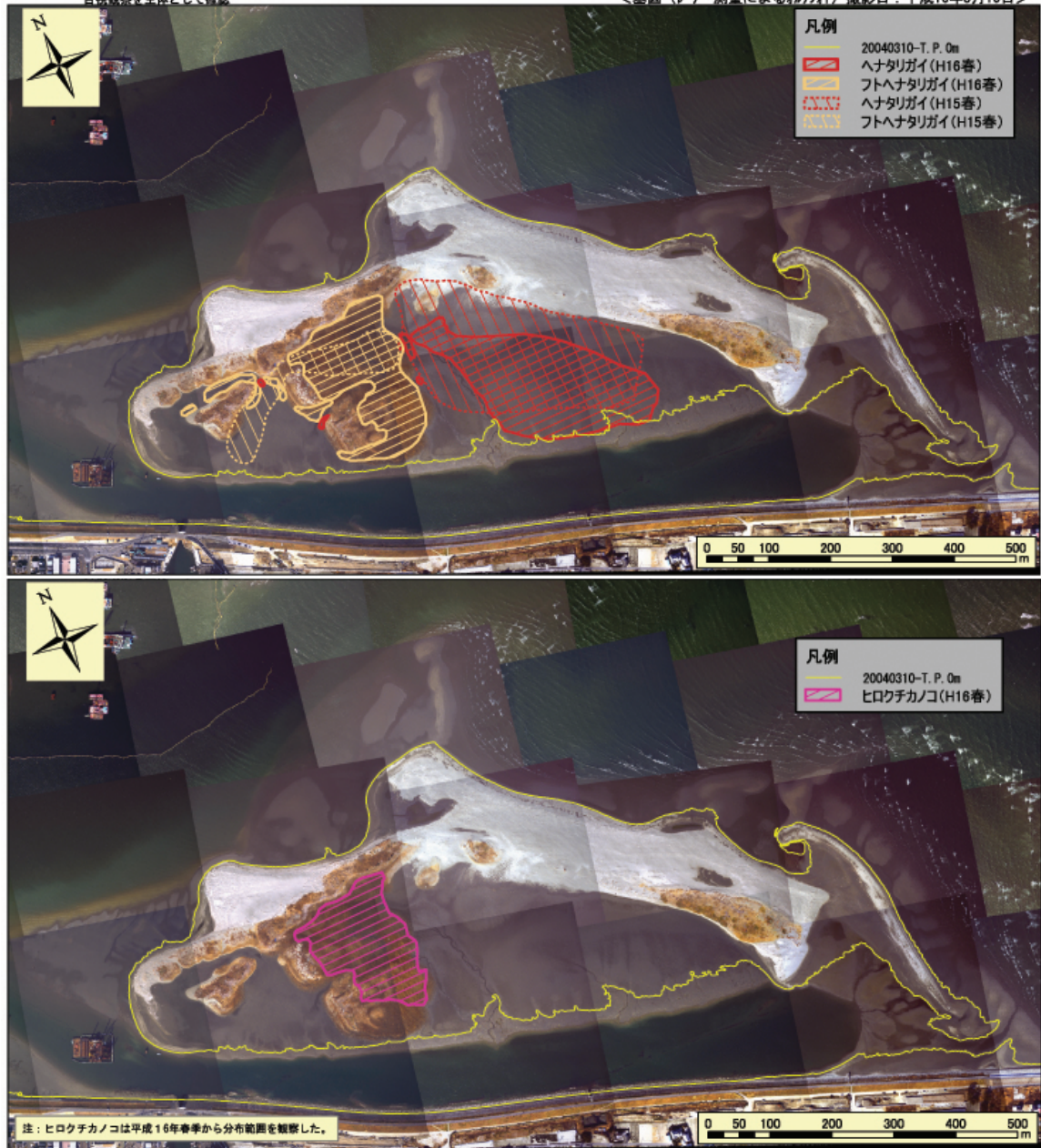


図 1-4-1 (2) 春季調査: 広域分布調査(河口干潟-2)